

令和7年度 前期 ビジネス・キャリア検定試験

1級 企業法務「出題の趣旨」

問題1（テーマ問題）

2024年11月1日に施行された新しい法律である特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律、いわゆるフリーランス法は、企業等の組織が、組織に所属せず働くフリーランスに企業が外注する場合の労働環境を保護することを目的とする法律であり、下請代金支払遅延等防止法、いわゆる下請法と比較すれば、類似点も多いが相違点もある。このフリーランス法と下請法の類似点と相違点の理解を問う。

問題2（事例問題）

株式会社（A社）の仕入れ担当従業員が、仕入先（甲社）と共に架空請求を行い、架空請求によりA社が甲社に支払った代金につきキックバックを受けたという事案を前提として、①事案に即した債権回収方法、②刑事告訴の当否に関する意見、及び③従業員に対する懲戒解雇の手続を問う。